

千本桜スポーツパークを活用したWell-Beingなまちづくりプロジェクト



<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

スポーツ振興を町長部局に移管し町民の誰もがウォーキング・サイクリング・パークゴルフなどのスポーツを楽しむことに加え、日常での様々な身体の活動をスポーツと捉え“楽しみながら健康づくりができるまち”、“ここからでもHappyになれる”、“元気でポジティブなイメージ”を発信できるまちを実現し交流人口・関係人口の拡大につなげる。

・河川敷アクティブスポーツ施設利用者数〔R5〕5,000人 → 〔R7〕12,000人 ・歩いて健幸事業登録者〔R5〕800人 → 〔R7〕1,200人

<PRポイント>

楽しみながらの健康づくり

【おおがわら千本桜スポーツパーク】…河川敷にマウンテンバイクコース、ドッグラン、パークゴルフ場などの施設整備・堤防天端にウォーキング・サイクリングロード（おおがわら桜ライン）として整備

【第1期スポーツ推進計画】…日常生活における意識的に継続して行う身体活動をスポーツとして捉え楽しい健康づくりの実現

新たな賑わいの創出

【千本桜を千年先に】…河川敷堤内地約3,000㎡に白石川堤一目千本桜の新たな賑わいと観光を施設整備

<概要> 計画期間：～令和8年3月31日

<現状・課題> ～健康意識が高く、子供の学力も高い、便利で住みよいCompact Town～

- ・白石川堤一目千本桜（日本さくら名所百選：祭り時20万人来客/年間）だが、通年での観光資源、魅力づくりが求められている
- ・特定健診者（40歳～74歳まで）の健康診断受診率の低下、メタボ結果での悪化

<総合的な取組内容>

千本桜スポーツパークを活用したWell-Beingなまちづくり

- スポーツ振興を町長部局に移管
新たな「(仮称)スポーツまちづくり推進課」として、スポーツによるWell-Beingなまちづくりを推進する
- スポーツをまちづくりの必須アイテムとして活用
千本桜スポーツパークとサイクリング・ウォーキングロード（おおがわら桜ライン）を活用して、健康づくり・人づくり・地域づくり・広域的連携を図る
- 歩くことの継続を支援する「歩いて健幸事業」
システム専用の歩数計で、歩数にポイントをつけ、ウォーキング情報や歩数ポイントで地場産品が当選



千本桜スポーツパーク 完成イメージ

■ スポーツと観光の連携

新たな観光スポット&アクティビティが楽しめる空間を整備
(令和7年度完成予定)



健康づくり
「ノルディックウォーキング教室」



地域づくり・広域連携
「仙南サイクルツーリズム事業」



人づくり
「マウンテンバイク体験教室」

【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

<継続的な取組を確保できる体制(図)>



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：教育委員会生涯学習課
- 地方スポーツ推進計画：大河原町教育振興計画
- 地方版総合戦略：大河原町まち・ひと・しごと創生推進計画
- 地域スポーツコミッション：無 ● その他：

【問合せ先・電話番号】 0224-53-2758

宮城県大河原町教育委員会

生涯学習課 スポーツ推進係